

分野：自然観察

## 雑木林を知る「湧き水・希少植物・腐葉土」

環境アドバイザー

千種 秀信

対象 富士見市立水谷小学校 3-6 年 (50 人)

所要時間 1 時間 10 分

場所 富士見市石井緑地公園 (どんぐり山)

実施時期 令和 3 年 12 月 7 日

### 概要

小学校の学年縦割りの総合学習のテーマ「水谷自然遺産を見つけよう！守ろう！広めよう！」の一環として講座依頼を受ける。自分達の校区内の自然を知ることが目的に、「雑木林を知る、湧き水・希少植物・腐葉土」のテーマで実施。

### プログラムの ねらい

雑木林の循環サイクル（落葉利用、萌芽更新、薪炭椎茸木利用など）を知る。日本農業遺産、「武蔵野落葉だめ農法」を知り、資源循環を理解する。土壌生物がいるから、すべての生物が生きていけることを理解する。（食物連鎖）特に人間は、畑や田んぼの土があるから生きていけることに感謝する。

### プログラムの内容

- 1 どんぐり山を愛する会「チーム紹介」、どんぐり山の成り立ち・経緯
- 2 湧き水の説明（地形的理由、水の量、絶やさない為には、、、）
- 3 希少植物の説明（キンラン・ギンランと樹木とキノコの三者共生、キツネノカミソリの生態、ウラシマソウの不思議、ジュズダマ、カントウタンポポ・・・）
- 4 雑木林の樹木（クヌギ・コナラが中心、ドングリ、循環サイクル（落葉利用、萌芽更新、薪炭椎茸木利用など）を説明
- 5 木が枯れる被害、カシノナガキクイムシについて、理由は、萌芽更新しない老木が増えた、温暖化で北上、すべて人間が生み出している。
- 6 落葉だめの仕組み、日本農業遺産、「武蔵野落葉だめ農法」を知り、資源循環を理解する。
- 7 落葉だめの中の腐葉土の土壌生物調査  
各班ごとに、トレイの中に土を少しずつ移して、手で撫でながら生物を採集する。  
カブトムシ幼虫、ミミズ、ハサミムシ、ムカデ、クモ、ワラジムシ、アオオサムシなどを観察
- 8 総評まとめ  
事前に質問項目を受けていたので、それに対して答える。

### 受講者の反応

- ・湧き水がどれくらい湧き出しているか？水量が多いことに驚いていた。
- ・校庭の地下が貯水槽になっていて、湧き水や洪水対策になっていることに大きな声があがった。
- ・ドングリに穴が開いていることを見つけた。その理由に反応が大きかった。
- ・落葉だめの中を見せた時に、動く生き物をすぐに見つけた時の反応が一番大きかった。
- ・カブトムシの幼虫を知らない子もたくさんいた。
- ・どんぐり山を愛する会の様々な活動を説明した時は、うなづく子が多かった。

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



湧き水の説明



希少植物の説明



落葉だめの中を見る



腐葉土を取り出してトレイで調査



甲虫の幼虫、ミミズ



ムカデ、ワラジムシ